

公益社団法人愛知県医師会 第8回(定例)理事会議事録

開催日時：平成26年6月12日(木) 午後2時35分～午後4時50分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／山本 楯 伊藤宣夫 横井 隆

理事／稲坂 博 可世木成明 市川朝洋 吉田 貴 伊藤健一

城 義政 加藤雅通 大輪芳裕 西山 朗 檜尾富二

松尾清一 樋口俊寛 伊藤富士子 瀬瀬雅明 細川秀一

監事／加藤 茂 丹羽 翼 岩瀬敬紀

代議員会議長／水野和夫

代議員会副議長／川上雅正 杉田洋一

議事録作成者 横地宏和

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者25名(うち理事19名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

水野議長より就任の挨拶をされた。

議事進行に先立ち、柵木会長より挨拶。

議 事

一承認事項一

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

① 愛知県臨床検査精度管理事業の共催について

市川理事より説明があり、承認された。

② 一般社団法人日本尊厳死協会東海支部(支部長 青木仁子)の行う平成26年度リビングウイル研究会東海地方会〔9/14(日)〕の共催について

市川理事より説明があり、承認された。

③ 一般社団法人日本尊厳死協会東海支部懇話会〔9/21(日)〕の後援について

市川理事より説明があり、承認された。

- ④日本肝臓学会(当番担当 愛知医科大学内科学講座(消化器内科教授 米田政志)主催の平成26年度日本肝臓学会肝がん撲滅運動市民公開講座〔10/4(土)〕の後援について市川理事より説明があり、承認された。
- (2) 全国地域リハビリテーション合同研修会及び全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会主催の平成26年度地域リハビリテーション合同研修会 in あいち〔7/5(土)、7/6(日)〕の後援について市川理事より説明があり、承認された。
- (3) 名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター新生児部門(教授 早川昌弘)が行う第6回小児在宅医療実技講習会〔8/3(日)〕の後援について市川理事より説明があり、承認された。
- (4) 愛知県・愛知県歯科医師会生活習慣病対策機能連携推進事業「平成26年度生活習慣病シンポジウム」〔9/20(土)〕への講師派遣について市川理事より説明があり、次期担当役員を派遣することが承認された。
- (5) 愛知県高齢者健康福祉計画策定検討委員会委員の推薦について市川理事より説明があり、伊藤副会長を推薦することが承認された。
- (6) 平成26年6月16日付 特別職員の採用について市川理事より説明があり、6月16日(月)より医療安全・難病相談室長に安西由美子氏を特別職員として採用。契約は平成27年3月31日までとし、その後は必要に応じて契約を更新することが承認された。
2. 平成26年度救急医療推進大会〔9/9(火)〕開催について(愛知県・愛知県医師会、愛知県外科医会主催：9階大講堂)稲坂理事より説明があり、標記大会の開催が承認された。
3. 愛知県脳卒中救急医療システムの参加について稲坂理事より説明があり、大隈病院、協立総合病院、大同病院、さくら総合病院、小嶋病院、八千代病院の6病院がシステム参加機関として承認された。柵木会長より、愛知県脳卒中救急医療システムについて質問され、稲坂理事より、アンケート調査を行い、愛知医報へ掲載している実績報告のシステムであると回答された。
4. 役員等退職慰労金支給について可世木理事より説明があり、4月末日で退職された藤原副議長並びに6月21日(土)開催の第172回(定例)代議員会をもって退職される4名の役員に対し、役員等退職慰労金規程に基づき退職慰労金を支給することが承認された。

5. 産科医療功労者の厚生労働大臣表彰候補者の推薦について

市川理事より説明があり、事後承諾にて河井通泰先生を候補者として推薦することが承認された。

6. 平成 26 年版会員名簿について

市川理事より、前回のプログラムが活用できる駒田印刷にて CD 版を作成し、冊子版については地区医師会の希望数を調査し、改めて見積りをとる。また、協賛依頼については 1 口 5 万円とし、広告は掲載せず協賛名義一覧の掲載のみとし、協賛企業には CD 版を 1 部贈呈すると説明された。

柵木会長より、冊子の表紙について質問され、市川理事より、CD を主として作成するため、今までのような表紙ではなく、薄い紙を使用すると回答された。

伊藤（健）理事より、協賛金の額について質問され、市川理事より、検討すると回答された。

樫尾理事より、委員会委員名簿、定款等は別冊になるのか質問され、市川理事より、定款、定款施行細則、役員名簿等を入れるが、委員会委員名簿は入れないと回答された。

柵木会長より、会員名簿は簡素に作成し、委員会委員名簿は別途作成する方向で承認とするよう提案され、承認された。

7. 病院事務職員のための教育ワークショップ〔7/5(土)〕講師謝礼について

伊藤（健）理事より説明があり、標記ワークショップの講師謝礼が承認された。また、勤務医師名簿について、会員名簿と同様に表紙は薄い紙にて作成すると発言された。

8. 社会保険診療報酬支払基金の行う診療報酬審査委員会委員（診療担当者代表）の推薦について

樫尾理事より説明があり、標記審査委員会委員の変更が承認された。

9. 愛知県広域予防接種事業運営委員会の設置について

瀬瀬理事より説明があり、愛知県広域予防接種事業の会内委員会設置及び委員構成が承認された。

柵木会長より、委員構成については、地区医師会等の改選期と重なるため暫定で承認とし、確定した段階で改めて理事会に上程するよう発言された。

10. 予防接種要望額（案）について

瀬瀬理事より説明があり、集団接種 45,300 円以上、個別接種 10,120 円以上で要望することが承認された。

柵木会長より、要望額に消費税分が上乗せされているか質問され、瀬瀬理事より、初診料に含まれていると回答された。

1 1. 医療安全対策委員会委員の変更について

細川理事より説明があり、愛知県病院協会から選出の藤田民夫先生と酒井和好先生の後任として、渡邊有三先生と絹川常郎先生への委員変更が承認された。

1 2. 各種委員会・部会について

A) 愛知県広域予防接種事業運営委員会準備委員会〔6/23(月)〕開催について (5階医師連盟会議室)

瀬瀬理事より説明があり、標記準備委員会の開催及び費用弁償の支払いが承認された。

—協議事項—

1 3. 会費の減免申請について

可世木理事より説明があり、藤田保健衛生大学医師会から申請のあった会費減免申請が承認された。

1 4. 提携SMO(治験施設支援機関)の施設支援再開の可否について

大輪理事より、平成26年2月27日(木)に開催された定例理事会において、本会会員施設の支援を行っているSMO(治験施設支援機関)の「サイトサポート・インスティテュート(SSI)」の会員新規施設への訪問及び支援を停止することとした協議結果について、施設支援停止期間の平成26年2月27日(木)から5月27日(火)の3ヵ月間を経過し、本期間中、特に問題が生じていないことを踏まえ、上記SMOの施設支援再開の可否について協議をしたいと説明され、再開することが承認された。

1 5. その他

・新旧役員と職員との懇親会〔7/10(木)〕開催について

市川理事より説明があり、標記懇親会の開催が承認された。

—報告事項—

1. 愛知県防災会議〔5/30(金)〕について
(愛知県主催：名古屋銀行協会)
柵木会長より、愛知県地域防災計画の修正(案)等について協議したと報告された。
2. 中部医師会連合第15回常任委員会〔5/31(土)〕について
(中部医師会連合主催：潜龍)
柵木会長より、日医役員選挙について、中部医連より推薦する候補者の協議をしたと報告された。
3. 平成26年度第1回愛知県がん研究振興会理事会〔6/3(火)〕について
(愛知県がん研究振興会主催：愛知県がんセンター)
柵木会長より、平成25年度事業報告、決算について協議され、承認されたと報告された。
4. 中部医師会連合第16回常任委員会〔6/4(水)〕について
(中部医師会連合主催：名古屋マリオットアソシアホテル)
5. 中部医師会連合第3回日医代議員協議会〔6/4(水)〕について
(中部医師会連合主催：名古屋マリオットアソシアホテル)
柵木会長より、日医役員選挙及び代表・個人質問について協議され、承認された。また、個人質問について中部医連からの提出数は決まっているが、日医代議員の先生より質問があれば、県医師会の協議会にて検討すると発言された。
6. 愛知県健康推進学校候補校実地審査〔6/5(木)・6/6(金)〕について
(愛知県学校保健会主催：豊田市立高嶺小学校・岡崎市立六ツ美西部小学校)
伊藤副会長より、授業を参観し、教師との面談等を行ったと報告された。
7. 平成26年度第1回愛知県健康づくり推進協議会〔6/3(火)〕について
(愛知県主催：愛知県議会)
横井副会長より、愛知県から健康づくり関連計画及び健康づくり施策の推進について説明があったと報告され、また、「健康日本21 あいち新計画」、「愛知県がん対策推進計画(第2期)」等の各計画の推進に関する平成26年度の取組について資料に基づき説明された。
8. 平成26年度第1回全国メディカルコントロール協議会連絡会〔5/30(金)〕について
(消防庁、厚生労働省主催：宇都宮東武ホテルグランデ(栃木県))
稲坂理事より、病院前医療体制の質を保障する仕組みとして地域でのMC活動は必須要件である観点から、救命士、救急隊員、通信指令員等、救急業務に携わる消

防職員全体の教育体制の強化と MC 医師の果たすべき役割について議論された。質疑応答では、『具体的な教育の在り方、工夫』について議論された。また、コメンテーターとして、愛知県での MC 協議会会長選出の経緯を説明し、消防と医療の連携の現状について言及したと報告された。

柵木会長より、他県の MC 協議会の構成について質問され、稲坂理事より主に防災局が所管していると回答された。

9. 平成 26 年度第 2 回愛知県救急業務高度化推進協議会作業部会〔6/2(月)〕について
(愛知県救急業務高度化推進協議会主催：三の丸庁舎)

稲坂理事より、主に、心肺停止前の静脈路確保と輸液プロトコールの活動指針について、事務局案の訂正箇所を中心に討議された。業務実施にあたっては、プロトコールの手順を踏襲するのではなく、総合的に患者にとって何が最善なのか判断できる能力が救命士と指示をする医師双方に求められ、責任が重くなる事が改めて確認された。続いて今後の再教育の追加講習プログラムとスケジュールが周知されたと報告された。

10. 愛知県医師会無線システム災害想定訓練〔6/3(火)〕について
(愛知県医師会主催：救急医療情報センター)

稲坂理事より、駿河湾沖を震源とするマグニチュード 7.8 の地震が発生したとの想定で、新しい無線機に更新後、初の訓練を行った。旧システムと異なり、県下各医師会・基幹病院等と一斉交信が可能となり、音声も遥かに明瞭に交信できたが、新しい無線機の操作に不慣れなためか、即時応答ができない機関があった。また、広域災害システムの入力訓練と FAX とメールによる情報収集訓練も併せて実施したと報告された。

11. 平成 26 年度第 1 回愛知県名古屋飛行場緊急計画連絡協議会〔6/5(木)〕について
(愛知県名古屋飛行場緊急計画連絡協議会主催：県営名古屋空港事務所)

稲坂理事より、愛知県名古屋飛行場緊急計画の改正、平成 25 年度消火救難総合訓練の結果、平成 26 年度消火救難総合訓練の実施について協議。今年度は、初めての夜間訓練を 9 月 18 日(木)に実施することになったと報告された。

12. 人事委員会〔5/29(木)〕について

市川理事より、承認事項 1(6)についての協議をしたと報告された。

13. 一般社団法人愛知県労災指定医協会 第 2 回定時総会〔5/22(木)〕について
(一般社団法人愛知県労災指定医協会主催：801~803 会議室)

城理事より、会員数は 1,289 人(入会 31 人、退会 24 人)。公益目的財産額が 820 万円あり、平成 29 年 3 月 31 日までに支出計画完了予定である。平成 26 年度の事業計画は、衛生管理者教育指導研修会、労災医療特別講演会、労災診療費算定実務研修会などの開催、集团的労働災害、地震等大規模災害に対し愛知県医師会と

連携し救護等の協力と援助を行うと説明があったと報告された。

- 1 4. 特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち第22回理事会〔5/31(土)〕について
(特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち主催：501 会議室)
城理事より、平成 25 年度事業報告、決算報告があり承認されたと報告された。
- 1 5. 特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち第10回総会〔5/31(土)〕について
(特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち主催：6 階研修室)
城理事より、平成 25 年度事業報告、決算報告、平成 26 年度事業計画、予算及び役員改選を行い、平成 25 年度の理事 10 名、監事 2 名が再選されたと報告された。
柵木会長より、事業計画にある医療健康保険組合設立準備事業について質問され、城理事より、現段階では具体化されていないが、設立までの準備を行うということであると発言された。
- 1 6. 特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち第23回理事会〔5/31(土)〕について
(特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち主催：501 会議室)
城理事より、理事長に志賀先生、副理事長に横井副会長、赤塚俊昭氏が選出され、平成 25 年度の理事、監事も再選されたと報告された。
- 1 7. 愛知県健康管理機関協議会理事会〔6/3(火)〕について
(愛知県健康管理機関協議会主催：日本陶磁器センタービル)
城理事より、会員検診機関は平成 26 年 4 月より 4 機関が退会し 20 機関となった。
また、今まであった、尾張ブロック会、三河ブロック会を廃止した。6 月 31 日(月)午後 3 時より、総会を開き、平成 25 年度の事業報告、決算、平成 26 年度の事業計画、予算、役員の選出を行うと報告された。
- 1 8. 保険医協会との懇談会〔6/3(火)〕について
(愛知県医師会主催：804 会議室)
加藤理事より、保険医協会から、医療・介護総合法案、選択療養制度、診療報酬改定に関する要望及びアンケート回収結果、税制改正等に関する進捗状況等について資料に基づき解説いただいた。本会からは厚生局や国保連合会に関する朝日新聞の記事、控除対象外消費税の解消に向けた日医案の内容等について資料に基づき解説を行ったと報告された。
- 1 9. 治験審査会〔5/28(水)〕について
(愛知県医師会主催：804 会議室)
大輪理事より、継続審査 15 件(統合失調症 6 件(小児 1 件含む)、潰瘍性大腸炎 3

件、大うつ病・認知症 各2件、乳がん・双極Ⅰ型障害 各1件)について、すべて承認されたと報告された。

20. 愛知県医師会会員相談窓口第5回事例検討会〔6/2(月)〕について

(愛知県医師会主催：802会議室)

大輪理事より、案件160件(うち診療報酬に関する相談122件)について協議したと報告され、また、一部の事例について説明された。

21. 愛知県警察医会第38回事例症例検討会〔6/7(土)〕について

(愛知県警察医会、愛知県医師会警察部会共催：803・804会議室)

大輪理事より、愛知県警察医会と愛知県医師会警察部会との共催にて開催。名古屋市立大学医学部法医学講座青木康博教授より、「調査法解剖事例の検討」と題して、講演が行われた。受講者は警察医会員と医師会員を合わせた25名で、講演終了後、質疑応答を行ったと報告された。

22. 産業医研修会〔5/28(水)・29(木)・6/5(木)〕について

(愛知県医師会主催：

アイシン・エイ・ダブリュ岡崎工場(5/28)・9階大講堂(5/29・6/5))

西山理事より、5月28日(水)はアイシン・エイ・ダブリュ(株)にて実地研修を行い17名の出席があった。5月29日(木)、6月5日(木)は県医師会館にて開催し、それぞれ145名、150名の出席があったと報告された。

23. ケアマネジャー等のための医療知識向上推進事業 平成26年度第1回セミナー・ワークショップ検討事業による検討委員会〔5/27(火)〕について

(名古屋大学大学院医学系研究科主催：名古屋大学医学部附属病院)

樋口理事より、前年度の活動報告として、電話相談窓口開設は56件、WS/セミナー等の開催、実技セミナー開催、e-ラーニングコンテンツ作成、事業の広報活動の説明及び、今年度の活動報告と今後の予定として、医療相談、WS/セミナーを64回開催予定、Q&A集作成、広報活動の説明があったと報告された。

24. イエローカードシステムに係る成果報告会〔5/28(水)〕について

(愛知県医師会主催：6階研修室)

樋口理事より、モデル事業としてご協力いただいた新城市、東郷町、春日井市の関係者と多職種連携協議会委員との合同で行い、イエローカードのメリット・デメリットを中心に協議し、今後は改善を考慮に入れつつ普及啓発活動に努めていくことになったと報告された。

25. 病院の認知症対応力向上事業 第3回 モデル事業企画支援会議〔6/9(月)〕について

(愛知県医師会主催：5階医師連盟会議室)

樋口理事より、医療従事者の認知症対応力向上研修については事例検討での役割分担について検討した。認知症対応病院モデル事業については、今年度実施するモデル病院と講師、指導病院との日程調整について現況報告があった。指導病院として国立長寿医療研究センターもご協力いただくこととなり、調整が必要である旨が説明されたと報告された。

26. 独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院 地域医療支援委員会・地域連絡協議会〔5/23(金)〕について

(中京病院主催：中京病院)

細川理事より、紹介率、逆紹介率、初診患者数の推移及び、JCHO 中京病院の発足に際して資料に基づき説明された。

27. 平成 26 年度第 1 回 愛知県小児救急医療連携体制推進協議会(仮称)〔5/28(水)〕について

(愛知県医師会主催：7 階研修室)

細川理事より、最初に、愛知県医務国保課担当者より本事業の概要説明が行われ、事業実施にあたり、協議会会長・副会長を選任し、会長として岩佐充二先生、副会長として池山貴也先生に決定した。主に、小児救急に関する実態調査、保護者または医療従事者等に対する講演会等を実施し、また、協議会名称を「小児救急連携体制協議会」とすることが決定されたと報告された。

山本副会長より、本事業は何年計画であるか質問され、細川理事より、単年度事業ではないと回答された。

柵木会長より、本事業については、事業の用途が付けば次は他の事業に委託金を回す可能性はありと発言された。

28. 各種委員会・部会について

A) 「現代医学」誌編集委員会幹事会〔5/22(木)〕について

(804 会議室)

松尾理事より、62 巻 1 号の進捗状況について、62 巻 2 号から Web 掲載のみとすることについて話し合った。Web 掲載になっても ISSN のナンバーは条件が整っているので申請すればとれるが、医学中央雑誌への掲載は継続審議になった。また、Web 化により経費の削減が出来たこと、Web 化によりどれくらい閲覧されたかの確認が出来ればよいが、県医師会ホームページでは個別のページの閲覧数がカウントできないので個別の対応ではなく全体としてカウント出来るよう検討中であると報告された。

B) 医療安全支援センター(苦情相談センター)委員会〔5/27(火)〕について

(6 階研修室)

大輪理事より、平成 26 年 4 月分の事例報告・検討を行い、新規事例 102 事例、継続相談 25 事例 40 回の総計 143 回(歯科 1 事例)について、術後の経過、成年後見人制度

の診断書作成、診療情報提供料の算定について報告。事務員の処方箋間違い、過剰医療、看護師の助産行為、マッサージの同意書について協議を行ったと報告された。

C) 社保指導委員会〔5/27(火)〕について
(801～803 会議室)

樫尾理事より、国保審査会長報告について、東海北陸厚生局との指導大綱に係る打合せ結果や昨年度の指導・監査状況について報告した。また、審査支払機関代表者より取決めに係る進捗説明、新聞報道や今回の診療報酬改定などに関して意見交換を行ったと報告された。

D) 救急委員会〔6/3(火)〕について
(7 階研修室)

稲坂理事より、報告事項では、6月2日(月)までに行われた関係会議等について報告がなされた。協議事項では、急性期脳卒中システムの参加機関追加・選定条件の変更、平成26年度救急医療推進大会、平成26年度救急医療功労者の愛知県知事表彰候補者の推薦、第一種応急救護指導員養成講習に係るカリキュラムについて等の議論がなされたと報告された。

E) 環境衛生委員会〔6/3(火)〕について
(501 会議室)

瀬瀬理事より、新型インフルエンザ、予防接種事故報告件数、麻しん、MERS、エキノコックス、梅毒等について、健康対策課、衛生研究所より情報提供していただき、対応について意見交換を行った。協議事項は今年度の予防接種要望額、子ども予防接種週間の事業内容、結核・感染症対策医師講習会を依頼する地区医師会について協議するとともに、新たに広域予防接種事業を中心に協議・検討を行う委員会の設置、その開催について協議したと報告された。

山本副会長より、予防接種事故報告の内容について質問され、瀬瀬理事より、事故事例について説明された。

F) 調査室委員会〔6/4(水)〕について
(5 階医師連盟会議室)

加藤理事より、会員意識及び実態調査のクロス集計結果について、資料に基づき説明の後意見交換を行った。なお、各委員のまとめについては8月末をめどに作成することとし、クロス集計やグラフ作成等の追加等があれば事務局まで申し出ることとしたと報告され、また、会員意識及び実態調査集計結果の審査・支払いの項目について説明された。

樋口理事より、社保と国保の齟齬について説明された。

樫尾理事より、再審査請求について発言され、柵木会長より、6月21日(土)開催の代議員協議会にて再審査請求のことも含めて発表するよう樫尾理事に依頼された。

G) 男女共同参画委員会〔6/5(木)〕について

(801 会議室)

伊藤（富）理事より、今年度開催予定の「医学生、研修医等をサポートする会」及び「女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会」の企画案について主に議論を行った。また、「男女共同参画委員会」が今後目指すべき姿について活発な議論が交わされたと報告された。

29. その他

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成26年6月12日